

## 平成 29 年度事業報告

公益社団法人となり 6 年目を迎え「身近なところのかかりつけ医」として、地域精神保健・医療・福祉の充実と増進、さらには精神科診療所の資質の向上等にむけ引き続き取り組んでまいりました。今年度においても、厚生労働省平成 29 年度精神科医療機関に対する就労支援ノウハウの周知・普及等の実施事業、また、診療報酬改定に向けたアンケート調査、他学会との共同研究、講演会を行うことで、会員はじめ医療関係者の知識向上や日々の活動における情報交換の場の提供に取り組み、さらなる地域精神保健医療福祉の発展と向上に取り組んでまいりました。

### 【 公 1 】 地域精神保健医療福祉の更なる向上を支援するための諸事業

#### 1. 診療所における地域精神保健医療福祉事業についての調査・研究

##### (1) 地域精神科医療を取り巻く諸問題の現況分析のためのアンケート調査事業

会員診療所へデイケアに関する実態調査を行い、臨床現場での治療・診断、また先端の医療情報など精神科医療に関する最新情報提供を行った。

A：地域福祉・デイケア委員会調査：精神科診療所デイケアの有効性調査・分析  
精神科診療所機能や地域支援機能、デイケアの現状について委員会を開催し、情報交換、意見交換を行った。また、デイケアの現状に関するアンケート調査を行い問題点の検討を行った。

B：認知症等高齢化対策委員会調査：重度認知症患者デイケア実態調査・分析  
「平成 25 年度障害者総合福祉推進事業」で行った「精神科診療所における地域生活支援の実態に関する全国調査」の結果と平成 28 年度に日精診会員向けに行ったデイケアアンケートの結果、今年度の診療報酬改定の結果も受けて、委員会内で検討・分析を行い、臨床現場での治療・診断に役立つ医療情報、診療報酬改定に対する提言を行うため、会員診療所向けにアンケート調査の検討を行った。

C：自殺対策プロジェクトチーム・埼玉県精神神経科診療所協会：

精神科診療所における自殺予防活動調査・分析

自殺対策プロジェクトチーム：以前より自殺の実態調査に協力している 10 地区に自殺対策調査研究を引き続き実施してもらい、自殺企図者への対策等自殺対策調査研究を引き続き行った。また、10 地区に現状の自殺実態を調査の依頼をし、第 3 報の報告書作成の検討を行った。

埼玉県精神神経科診療所協会：埼玉県精神神経科診療所協会調査（通年）

埼玉精診を中心に会員からの自殺既遂例の実態調査と症例報告の集計分析を行った。

D：児童青少年問題関連委員会：児童青少年の精神医療についての調査等

児童青少年の発達障害について、ネット依存の症状・診断・治療について協議を行った。

##### (2) 地域精神保健医療福祉の向上を図るための全国診療所の現況のための調査事業

精神科診療所での実態調査を行うことで日精診としての精神科医療の在り方を研究し、今後の医療制度の問題点への指摘・提言できるデータを作成し、精神保健医療向上を目指す。

A：医療制度対策委員会：医療制度・精神科救急関係調査

精神科診療所からみた精神科医療のビジョンを考えるプロジェクトチーム：

平成 25 年度に行った外部講師との対談、精神科診療所調査及び訪問内容の分析をした報告書を踏まえて、医療計画等の検討を行った。

**B：医療経済委員会：医療経済関係調査**

診療報酬改定に向けたアンケート調査、情報交換、精神科七者懇談会へ提案を行った。平成 27 年度から行っている、日本臨床精神神経薬理学会との共同研究（気分障害圏）を引き続き行い、双極性障害薬物療法調査を実施し、診療報酬改定の提言作成を引き続き行った。

**(3) 精神科医療現場で活用できる患者支援サービスのためのシート・ソフト開発等の研究事業**

**A：「日精診版 社会生活支援サービスシート・CD」開発研究と普及**

NSS サービス研究事業 全国研修会：（地域福祉・デイケア委員会）

日精診版診断書ソフト開発・普及

当協会独自の「日精診版 社会生活支援（NSS）サービスシート及びCD開発・普及を続け、現場医療職員への支援向上、患者への支援サービスにつなげてきた。また、今年度も全国研修会の開催や、日精診ジャーナルへの記事掲載により、シート・CDの普及にも貢献した。

担当：地域福祉・デイケア委員会

実施：委員会でのシート・CD研究・開発を行った。

日程：開発：通年

全国研修会：平成 30 年 3 月 4 日（日）13：00～16：30 AP 品川

参加者数：20 名

講師：藤井 千代（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

テーマ：「地域包括ケアシステムに生かす包括的支援マネジメント」

上林 正貴（南彦根クリニック）、清水目 弘恵（大通公園メンタルクリニック）

テーマ：「繋がる支援～事例を通して」、

「多機能型精神科診療所における危機介入からみた地域包括ケアシステム  
の一考察～厚生労働省ケアマネジメント 2 次調査報告より～」

原 敬造（原クリニック）

テーマ：「精神科診療所から見た地域包括ケア」

成果・活用：研修会において実際にサービスシートを使用している医療・福祉関係者からのご意見を多く頂戴し、使用者同士の情報・意見交換を通して情報の共有や最新の課題の共有ができた。

**2. 精神保健福祉及び精神科医療に関する正しい知識の普及及び相談事業**

**(1) 地域精神医療保健福祉の向上に関する講演会開催事業**

認知症や統合失調症等に対する一般市民への正しい精神医学の啓発、及び自殺対策、うつ病予防などの精神医学的、社会的問題への寄与、障害者を抱えた家族への啓発を行った。

**A：公開講座「どんとこい！認知症」**

担当：認知症等高齢化対策委員会

実施：平成 29 年 11 月 3 日（金）13：00～17：00 東京都医師会館講堂

参加者数：136 名

特別講演：「認知症を生きるとは」

講師：繁田 雅弘（東京慈恵会医科大学精神医学講座教授 同大学付属病院メモリークリニック）  
シンポジウム

シンポジスト：釜 完司郎、古沢 信之、高橋 幸男、三原 伊保子

コメンテーター：繁田 雅弘

B：公開講座「産業メンタルヘルス講演会」

担当：産業メンタルヘルス関連委員会

実施：平成 29 年 9 月 24 日（日）13：00～16：30 ヴィアーレ大阪

参加者数：209 名

特別講演 1：「ストレスチェック施行後 1 年目の実態」

講師：中田 昌志（大阪労働局労働基準部健康課）

特別講演 2：「弁護士からみたストレスチェックの意義と活用法」

講師：生越 照幸（弁護士法人ライフパートナー法律事務所 弁護士）

シンポジウム・総合討論

シンポジスト：先山 浩司、北村 栄作、高野 知樹、川畑 真理

C：公開講座「みんなでかたろう！女性のメンタルヘルス」

担当：女性の精神科医療を考える委員会

実施：平成 29 年 11 月 26 日（日）13：00～16：30 東京都医師会館講堂

参加者数：58 名

特別講演：「私が医者进行辞めない理由」

講師：おおたわ 史絵 先生（内科医）

シンポジウム

シンポジスト：海老澤 佐知江、田中 理香、三原 伊保子

コーディネーター：望月 美知子

コメンテーター：おおたわ 史絵

D：公開講座「自殺対策講演会」（自殺対策プロジェクトチーム）

担当：自殺対策プロジェクトチーム

実施：平成 30 年 2 月 18 日（日）13：30～17：00 ヤクルトホール

参加者数：139 名

シンポジウム・総合討論「高齢者の自殺対策～とくに介護をめぐる諸問題より～」

シンポジスト：里村 淳、小島 操、鈴木 央、高橋 幸男

(2) 各地区で展開されている講演会・相談会事業に対する助成事業

各県精神神経科診療所協会等で開催されている一般市民対象の講演会事業への助成を行った。

A：各県協会等開催講演会事業助成

1. 講演会相談会「宮精診メンタルヘルス講演会」2 回（29. 5. 20、29. 11. 11）宮城精診共催 助成金額 88, 059 円
2. 講演会相談会「児童思春期メンタルヘルス研修会」（29. 10. 21）宮城精診共催 助成金額 158, 429 円
3. 講演会相談会「どんとこい認知症 しらかわ」（29. 10. 1）福島精診共催 助成金額 208, 573 円
4. 講演会「眠れぬ夜のために」（30. 3. 25）群馬精診共催 助成金額 125, 400 円
5. 講演会「女性のアディクションとその回復」（29. 11. 26）埼玉精診共催 助成金額 400, 000 円
6. 講演会相談会「第 11 回こころと福祉の相談会&講演会」（29. 10. 9、29. 12. 3）神奈川精診共催 助成金額 575, 616 円
7. 講演会「おとなの発達障害を斬る」（30. 2. 25）愛精診共催 助成金額 132, 460 円
8. 講演会「睡眠障害と PTSD」（29. 9. 2）滋賀精診共催 助成金額 95, 721 円

9. 講演会「市民講演会」(29. 8. 30、29. 9. 20、29. 10. 26、29. 10. 31、29. 11. 9、29. 11. 14、29. 11. 30、29. 12. 3、29. 12. 7、30. 3. 1) 大阪精診共催 助成金額 100,000 円
10. 講演会「ハートフェスタ～心と心のふれあい広場～」(29. 10. 14) 兵庫精診共催 助成金額 200,000 円
11. 講演会「平成 29 年度市民公開講座」(29. 6. 4) 宮崎精診共催 助成金額 179,726 円
12. 講演会「在宅認知症の方とご家族を支える」(30. 2. 24) 山梨精診共催 助成金額 73,114 円
13. 講演会「災害と心の健康」(30. 3. 3) 福岡精診共催 助成金額 315,000 円

(3) 地域の精神保健医療福祉の向上を図る精神保健無料相談及び電話相談への助成事業  
各県精神神経科診療所協会等で開催されている一般市民対象の無料相談・電話相談事業への助成を行った。

A：精神保健無料相談・電話相談

1. 専門医による心の健康なんでも相談(29. 6. 4、29. 9. 10) 大阪精診共催 助成金額 679,363 円
2. 第 23 回こころの健康よろず相談(29. 10. 22) 広島精診共催 助成金額 204,134 円
3. 専門科医によるこころの電話相談(29. 4. 1～30. 3. 31) 東京精診共催 助成金額 462,393 円

(4) 一般市民向けに精神科医療情報パンフレット作成事業

精神保健医療福祉分野における最新の情報・知識の普及、精神科医療を身近にすることを目的として発行した。

A：医療情報マップ発行(各県精神神経科診療所協会)

各県精神神経科診療所協会において地域のメンタルクリニックマップ、日精診会員診療所マップの作成を行った。

1. 栃木県精神科診療所マップ作成 栃木精診共催 助成金額 70,000 円

(5) 精神保健医療に関する情報提供のための啓発冊子(ブックレット)発行事業

一般市民を対象に精神保健医療に関する情報を提供することにより、精神医療保健福祉分野における正しい知識や地域の精神保健、医療、福祉に関する情報の普及啓発を行った。

A：ブックレット発行(会誌編集委員会)

特集：「ストレスチェック制度とは」

執筆(渡辺洋一郎：横山・渡辺クリニック)

発行部数：40000 部発行

配布先：会員診療所、各地区協会、精神保健福祉センター、保健所等

(6) 平成 29 年度精神科医療機関に対する就労支援プログラムのノウハウ普及・導入支援事業  
(厚労省委託事業)

精神障害者の就労支援を目指す精神科医療機関を支援し、より広くより充実した就労支援の全国展開を目指す。就労支援に関わる精神科診療所へのインタビュー調査、就労支援を活発に行う精神科診療所等で見学・説明・相談会を開催、新たに就労支援相談等に入りハローワークとの連携を行う精神科医療機関の新規開拓、精神科医療機関を対象とした就労支援ノウハウの周知・普及セミナーの開催、医療機関を対象とした精神障害者の就労支援に関する相談援助を行った。

A：モデル事例集発行(インタビュー調査) 900 部発行

配布先：会員診療所、各地区協会、各地区精神科病院協会 等

B：精神科医療機関を対象とした就労支援ノウハウの周知・普及セミナーの開催

テーマ：「精神障害者の職業生活を支援するために、医療機関等の役割や支援方法、

その工夫などを語り合う～職場定着支援におけるチーム支援のあり方について～」

1. セミナーin 徳島 (29. 10. 15) アスティとくしま 参加者 123 名
2. セミナーin 札幌 (29. 11. 25) 北農健保会館 参加者 101 名
3. セミナーin 千葉 (30. 2. 17) キックマンアリーナ 参加者 107 名

C：就労支援に関わる精神科診療所の見学・相談会の開催

1. 見学・相談会 in 神奈川 (29. 8. 10) 大石クリニック
2. 見学・相談会 in 東京 (29. 8. 24) クボタクリニック
3. 見学・相談会 in 島根 (29. 9. 27) エスポール出雲クリニック
4. 見学・相談会 in 広島 (29. 9. 30) 中山心療クリニック
5. 見学・相談会 in 徳島 (29. 10. 21) 宮内クリニック
6. 見学・相談会 in 宮崎 (29. 12. 13) 早稲田クリニック

### 3. 精神保健医療福祉に関する教育研修及び広報事業

(1) 地域精神医療保健福祉の向上を目的とした研修会開催事業（医療及び精神保健福祉関係機関従事者対象）

精神科医として精神疾患の診断・治療技術の向上、及び地域社会における活動の方法、地域精神保健医療福祉への貢献の在り方などについて事例・症例研究会・検討会を行い、国民の精神保健の向上を引き続き図った。

A：事例検討会（各県精神神経科診療所協会）

1. 講演会「児童検討会」（29. 7. 6、29. 9. 28、29. 12. 21、30. 3. 22）埼玉精診共催 助成金額 44,311 円
2. 講演会「発達障害をめぐる小児科と精神科の連携について」（30. 3. 31）滋賀精診共催 助成金額 72,522 円
3. 講演会「多職種が実施できる統合失調症患者の簡易認知機能評価トレーニングコース」（29. 5. 27）大阪精診共催 助成金額 150,000 円
4. 講演会「第 18 回思春期症例検討会」（29. 4. 8）広島精診共催 助成金額 50,000 円

B：研修会：第 23 回学術研究会（東京精神神経科診療所協会共催）

実施：平成 29 年 6 月 17 日（土）～18 日（日） 秋葉原コンベンションホール

参加者数：521 名

テーマ：「精神科診療所の歩む道～地域型か、専門型か、あるいは・・・～」

特別講演、メインシンポジウム、分科会等

C：関連機関共催による講演会・研修会事業

例年行っている日医共催事業については実施を見送り、共催での事業開催は実施できなかったため当協会ですべて新たに以下の事業を行った。

「第 1 回女性精神科医の集い」

担当：女性の精神科医療を考える委員会

実施：平成 30 年 1 月 21 日（日）15：00～17：00 ハイアットリージェンシー東京

参加者数：10 名

基調講演：

- ①「暴力のリスクアセスメント」 講師：安藤 久美子（医師）

D：チーム医療・地域リハビリテーション研修会：神奈川（地域福祉・デイケア委員会）

第 18 回チーム医療・地域リハビリテーション研修会：神奈川

担当：神奈川県精神神経科診療所協会

実施：平成 29 年 11 月 18 日（土）～1 月 19 日（日） 横浜開港記念会館

参加者数：466 名

テーマ：「精神科医療サービスをきわめる～開港の地横浜からの新たな船出～」

特別講演、教育講演、シンポジウム、分科会等

E：司法精神医学講演会

第 10 回司法精神医学講演会

担当：医療観察法等検討委員会

実施：平成 30 年 2 月 4 日（日） 13：00～15：30 TKP 品川カンファレンスセンター

参加者数：27 名

講演：「医療観察法におけるクライシス・プラン一般精神科医療での活用も含めて」

講師：野村 照幸（国立病院機構さいがた医療センター 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士課程）

医療観察法勉強会

担当：医療観察法等検討委員会

実施：平成 29 年 10 月 1 日（日） 10：00～12：00 AP 品川

参加者数：6 名

講演：「精神鑑定について」

講師：安藤 久美子（聖マリアンナ医科大学病院 統合失調症治療センター）

医療観察指定通院医療機関連絡会議・勉強会（医療観察法等検討委員会）

担当：医療観察法等検討委員会

実施：平成 29 年 11 月 19 日（日） 10：45～11：45 横浜市開港記念会館

参加者：20 名

実施：平成 30 年 2 月 4 日（日） 15：40～16：30 TKP 品川カンファレンスセンター

参加者：9 名

(2) インターネットを介した精神保健医療に関する知識の普及啓発と心身の健全な育成を図る事業

インターネットを介し、国民へ正しい精神保健医療福祉に関する最新情報の提供を行う。また、地域における精神科医療機関に関する情報提供を行うことで、地域連携の役割を担う。

A：ホームページ運営事業（情報システム委員会）

講演会、研修会事業等を HP にアップし、一般市民、医療関係者への情報発信として、情報提供の場となる。

(3) 精神保健医療に関する情報提供のための学術・情報誌発行事業

精神医療保健福祉分野における最新の研究報告・学術情報・知識の普及、及び地域医療を担う精神科医療関係者の資質向上を目的として、年 6 回学術・情報誌、学術研究会報告集および、研修会特集号をした。

①協会誌「ジャーナル」及び「チーム医療地域リハビリテーション研修会報告集」発行（会誌編集委員会）

担当：会誌編集委員会

ジャーナル：228 号（29.5.31）～233 号（30.3.31）年間 6 巻発行

各号 1800 部～1870 部

チーム医療地域リハビリテーション研修会（神奈川大会号）報告集：30.3 1870 部  
②「学術研究会」報告集発行（大阪精神科診療所協会共催）  
学術研究会（東京大会号）報告集：29.3 2150 部

#### 4. 精神保健医療福祉に関する調査研究に対する助成事業

地域精神保健医療福祉の進歩に寄与すると思われる個人または団体による調査、研究、出版事業などに助成をした。

田中健記念研究助成事業：田中健記念研究事業積立金を財源に、年間総額 300 万円の範囲内で資金を供与し、対象内容の対象者の数に応じて分配。前年度繰り越し分も含めての助成となった。（平成 29 年度助成総額 2,772,273 円）

- ①不登校・ひきこもりへのアウトリーチにおけるリスク回避および解消方法に関する研究-有効なケースマネジメントの検討
- ②産後うつ病の早期発見に繋がるスクリーニング法の確立と、それに基づく適切な介入方法の提案
- ③双極性障害患者の就労と薬物療法に関する検討
- ④地域移行後の慢性統合失調症患者の生活習慣の実態調査
- ⑤『デイケア紹介・体験談 VTR』作成を通してリカバリーモデルに出会う取り組み
- ⑥「ピアサポーターと協働した精神科『社会的入院』患者に対するモチベーション・サポート実践～多施設合同研究」（中間報告）
- ⑦アルコール依存症における回復アセスメント尺度の開発
- ⑧認知症の BPSD 発症予防に関する調査研究
- ⑨企業で行われているストレスチェックの活用法の研究
- ⑩精神障害・発達障害のある方への就労移行支援における支援プログラムの治療的改善効果の測定を目的とした研究活動(平成 27 年度からの継続研究)～大阪府内外のデータ解析を目的として～

以上、10 件

\* 平成 30 年度学術研究会にて研究発表後、9 月発行予定のジャーナルに論文掲載。

#### 5. 災害時における精神保健医療福祉に関する支援事業

- (1) 被災者、精神科医療機関、保健所等への支援を行いながら、継続支援が必要な人を地域精神保健医療福祉につなげる事業であり、震災支援者のための援助事業を引き続き行っていく。また、全国会議を開催し、被災地及び各地の情報交換を行うと同時に日精診としての支援方法を検討し、具体的な支援プログラムの作成、被災者、診療所等への支援について検討を行った。

A：震災支援マニュアル作成

担当：地域福祉・デイケア委員会

「日精診 災害対策マニュアル」第二版について、熊本地震被災診療所の声や臨床分科医会代表者会議での災害対策の検討事項も参考に引き続き、検討を行った。

B：被災地域・被災者支援活動（全国会議及び支援）

年 1 回開催し、全国各地区での災害に対する取り組みなどを検討し震災に備える。

開催：平成 29 年 10 月 29 日（日）11：00～17：00 A P 品川

参加者数：47 名

議題：日精診災害支援対策本部から経過報告と今後の支援

災害支援の取り組みについての報告

現地報告等：東日本大震災支援についての報告

C：地域精神科医療機関の業務支援

全国会議において、各地域の現状やニーズなどの情報交換を行い、地域の現状に

即した業務支援について検討を行った。

- (2) 災害によりトラウマを受けた子供たちの心のケア及び親、教師への支援を継続的に行う事業

A：子供たちの心のケアのためのチラシ・冊子を配布し普及

子どもの精神療法に関するパンフレットの作成、講演会での配布を引き続き行う。

B：児童・青少年の心のケアのための講演会

公開講座「第8回子どものこころの健康を考えるシンポジウム」

担当：児童青少年問題関連委員会

実施：平成30年1月28日（日）13：00～16：30 よみうりホール

参加者数：205名

シンポジウム1：「子どもの貧困と精神的健康：東京都調査から」

講師：阿部 彩（首都大学東京都市教養学部教授／子ども・若者貧困研究センター）

シンポジウム2：「『関係性の貧困』への手当てとしての、開かれた居場所の可能性～まかないこども食堂の取り組みから～」

講師：鴻巣 麻里香（KAKECOMI 発起人・代表）

シンポジウム3：「子どもの貧困と親支援」

講師：土井 高德（土井ホーム）

シンポジウム4：「児童精神科医の視点から子どもの貧困を考える」

講師：大高 一則（大高クリニック）

討論：阿部 彩、鴻巣 麻里香、土井 高德、大高 一則

### 【他1】地域精神保健医療福祉関連機関に対する協力事業

- (1) 地域精神保健医療福祉活動の向上を図るため、他の精神科医療機関、各種職能団体、社会復帰施設及び関連団体、精神保健福祉センター及び保健所、精神障害者社会復帰センターなどの諸団体、国、都道府県、市町村など関係行政機関との協力、援助を図る。

A：厚生労働省、行政、日本精神科七者懇談会、日本臨床分科医会代表者会議、精神保健福祉連盟、等での情報交換、及び事業協力を行う。

### 【他2】会誌発行など会員への情報伝達を中心とした事業

- (1) 会員間での精神科医療に対する啓発、会員名簿作成により全国の会員の診療所情報提供を行うことで、地域連携に結びつく事業を引き続き行った。

A：会員・各委員会メーリングリスト

担当：情報システム委員会

メーリングリスト開設状況：24件

①会員ML

②各委員会ML

（地域福祉ダイケア、児童青少年問題関連、産業メンタルヘルス関連、女性の精神科医療を考える、医療制度対策、医療経済、医療経済・政策合同、会誌編集、情報システム、学術班、会員基礎調査、薬事、倫理、医療観察、研究助成事業選考）

③理事会ML

④地区会長会ML

⑤精神科診療所からみた精神科医療のビジョンを考えるプロジェクト委員会ML

⑥厚科研チーム

⑦会員支援対策委員会ML



- ⑧自殺対策プロジェクト委員会ML
- ⑨災害支援対策チームML
- ⑩医療計画等検討プロジェクトML

B：MEDIFAX 等情報発信（医療経済委員会）

担当：医療経済委員会

M E D I F A X 情報提供を行い日精診の活動につなげる。

(2) 機関紙、FAXニュース等の発行により、会員への情報伝達を中心として行い、最新の医療情報を発信し会員の知識向上に貢献していく事業。

A：会員向け情報「FAXニュース」発行

担当：会長、副会長、事務局長

発行：FAXニュース 134号～140号 7回発行、全会員への情報提供：5回発行

B：会員向け情報「議事録誌」発行

担当：会誌編集委員会

発行：228号（29.5.31）～233号（30.3.31）年間6回理事会議事録 HP掲載（会員向け）